



南高

律・啓・創

7・8月号

進路だより

HOP! STEP! JUMP!

平成29年7月7日
福島南高・進路指導部

7月8月の行事予定

- | | |
|---|--|
| 1日(土) 進研学力総合テスト(1年)
第5回公務員模試(3年)
K G G S 姉妹校交流(6/30~) | 19日(水)~8/22(火) 夏季休業
19日(水)~7/26(水) 夏季課外(1年)
~7/26(水) 夏季課外(2年)
~8/10(金) 夏季課外(3年) |
| 2日(日) 実用英語検定2次試験
全商ビジネス文書検定 | 24日(月) 中学生体験入学(オープンスクール) |
| 3日(月) 求人票受付開始 | 25日(火)~27日(木) 全国インターハイ準備 |
| 4日(火) 小論文ガイダンス
第2回挨拶運動 | 28日(金)~29日(土) 全国インターハイ
バスケットボール会場 |
| 6日(木) 薬用乱用防止教室(2年) | 8/4日(金)~5(土) 第2回全統マーク模試(3年) |
| 9日(日) ビジネスコミュニケーション検定 | 8/9日(水) 新潟大学オープンキャンパス |
| 12日(水) 小論文分野別指導 | 8/11日(金) 山形大学オープンキャンパス |
| 13日(木) K G G S 姉妹校交流帰校 | 8/23日(水) 全校集会 |
| 14日(金) 赤本市 | 8/23日(水)~25日(金) 煌南祭準備 |
| 17日(月) 海の日
宇都宮大オープンキャンパス | 8/24日(木) 就職推薦会議 |
| 18日(火) 全校集会・壮行会
街頭補導 | 8/26日(土)~27日(日)
8/29日(火)~30日(水) 代休 |

センター試験 1月13日まで
・・・あと**190日**

就職試験開始9月16日まで
・・・あと**71日**

「夏を制する者は、受験を制す！」

「夏を制する者は・・・」とは、よく聞く受験の「慣用句」みたいなものである。しかし、これは普段の積み重ねの上に・・・であって、夏期休業だけ頑張ろうとしても、途中で挫折するのが目に見えている。中間考査終了が6月16日(金)。夏期休業前の全校集会が7月18日(火)。この一ヶ月をどう過ごしているか？ 3年生は自分のベースとなる学習に取り組んでいるだろうか。英語・数学・国語の基礎固めはどこまでできているか？ 1・2年生は定期考査が終了し、一段落して学習意欲が減退、家庭学習時間もゼロが当たり前になっていないだろうか。それでは何も学んでいないことになるのだ。定期考査の内容も復習をしないと記憶から消えていくことになるのだ。この期間を大事に、計画的に自宅学習して、「継続」して、主体的に学び続けるから、「継続は力なり」といわれる。

夏季課外の計画が各学年から発表になっている。今年の夏は特別な夏休みになると予想される。本校がインターハイの会場になっている。夏休み終了直後に、第10回煌南祭が予定されている。ということは、夏休み中にある程度の準備に時間を割かれることになる。3年生諸君、本当に計画的に学習を進めないと、気がついたら涼しい風が吹き始めていた。なんてことになってしまう。

1年生へ

高校で初めての定期考査が終わった。思っていたより点数が取れた、取れなかった？ 自分が思い込んでいたほど、点数が取れない自分があることに気がついたはずだ。問題は、次に向かってどう進むかだ。今しかか

りと自分に向き合い、「失敗」や「苦悩」あるいは「諦め」から学び、自分自身を変えていってもらいたい。間もなく、「夏季休業」に入る。夏季休業を計画的に生活しないと、何も得るものがなく、「空白のヶ月」が過ぎ去っていくことになる。

夏季休業は、普段できないことをする時期でもある。その一つとして「課題図書」を選んでもらった。君たちは、自分の人生の中で、今どこを歩んでいるのか、そして、どこに向かおうとしているのか？。自分自身を見つめる「時」を持ってもよいのではないか。**自分はいったい何をしたいのかを考える時間を。**

2年生へ

君たちは、**高校生活の折り返し点**にいるという自覚はあるか？1年半後には、「センター試験」を受験する。1年次に自覚した反省を生かしているか？目標が定まらない人は、この夏季休業を生かして、自分の将来をさまよいなさい。生きるということは、「試行錯誤」の連続である。オープンキャンパスもこの夏休み期間開催する大学が多く、積極的に参加してもらいたい。そこで、自分の力で「見て」「聞いて」「歩いて」大学の学びを研究しよう。自分はいったい何を学べば良いのかをじっくり研究し、志望大学学部学科を早期に決定しよう。長い夏季休業も、過ぎてしまえば、後悔だけ、という思いは、もう繰り返さないようにしよう。

3年生へ

マーク模試の時期	予想平均点
6月マーク	470
9月駿台との共催マーク	510
11月駿台との共催マーク	530
センター試験(データネット)	580
目標点は？	()

中間考査直後、進研マーク模試を実施した。自己採点した結果はどうだったか？結果に一喜一憂せず、ここで冷静に考えてもらいたいことがある。左の表を見てみよう。ベネッセが公表しているものだが、それぞれの時期の模試は、センター試験本番と同じ難易度の出題を想定している。高3生が受験勉強の準備を進めることで、徐々に平均点がUPしていくのである。例えば、9月のマークで、510点取れていれば、本番のセンター試験では580点を取ることが濃厚なのである。

又、目標点数からの隔たりから、あと何点学力を向上させなければならないかが分かり、克服すべき学習課題が明確になる。その時、どの教科で何点UPさせるか、まだ理解不十分な分野はどこかを自己分析して、次回までの学習計画に盛り込んでもらいたい。因みに今春の入試では、この580点で、福島大学経済経営学類・行政政策学類合格率75%である。

夏季課外は7月19日～8月10日までの長丁場となる。課外に出席していることが受験勉強なのではない。継続して家庭学習に取り組んで初めて、課外の学習内容を把握し、自分の身に付いてないところを自覚することになるのだ。1日、**10時間以上**は勉強できるはずである。それから、この時期、入学する学校の目標を下げ、勉強することを放棄することを絶対するな。その時点で学力はどんどん低下していくことになる。「入れる大学」ではなく、「入りたい大学」に最後までこだわって欲しい。この夏が勝負所である。

「2017年度入試結果研究会」(ベネッセより)

【2017年度入試結果の全体概況】

近年の入試を取り巻く環境

大学・短大の総志願者数はここ数年約73万人で、1992年度のピーク時に比較して約6割に減少した。一方、入学定員は約65万人とピーク時とほとんど変化していない。そのため、志願倍率は1.8倍からここ数年は1.1倍にまで低下しており、受験競争の緩和が進んでいる。近年の傾向である「地元志向」に加え、2017年度入試では「文高理低」が3年間継続している。理系人気が落ちたというよりは、文系人気が復活した。理系でも一部系統では志願者が増加に転じ、落ち着いた倍率である。また、難易度を下げて前期で決める「安全志向」の傾向も続いている。

2017年度入試の振り返り

国立大学では法学、国際関係学、薬学系統の志願者が増加している。一方、語学、社会学、歯学、医学、農学系統の志願者が減少している。私立大学では、人文科学、法学、経済・経営・商学系統などで志願者が増加している。一方、歯学、薬学系統で志願者が減少している。全体では、法学・国際関係学系統の志願者が増加しており、文系学部の人気回復が目立った。

大学入試センター試験の概況

10点以上の平均点の変動があった教科・科目は、「国語」（対前年−22.43）、「生物基礎」（同+11.89）、「英語（筆記）」（同+11.30）。900点集計の予想平均点は、5教科8科目文系が556点（得点率61.8%）、5教科7科目理系が562点（得点率62.4%）となり、前年と比較して、文系が+9点、理系は−2点となった。現行入試では、履修内容が増加し、知識を表面的に理解するのではなく、原理原則まで理解した上で、横断的・総合的に考え、正確に表現する力が問われており、この傾向はこれからも続く可能性があることを踏まえてい。

学部系統別入試概況

法学系統は、国公立大学の志願者指数が対前年指数106、私立大が105で、やや増加、人気が続いた。教員養成・教育学系統は、国公立大の志願者数が対前年指数94とやや減少、私立大は100と前年並みとなった。それは非教員養成系統の見直しによるものである。看護学系統では、国公立大学の志願者数は前年指数99と前年並み、私立大は104と増加している。

国公立入試概況

国立大学では、AO入試を実施する大学数が64.6%まで達し、募集人員は対前年指数123と大幅に増加している。平成33年度までに、入学定員の30%を目標に推薦入試、AO入試、国際バカロレア入試等を拡大することをかかげており、この傾向は強まることが予想される。2017年度入試の国公立後期日程の欠席率は56.5%と5年連続で前年を上回った。

私立大入試概況

文科省の指導による入学定員厳正化の影響で、一般入試の募集人員が約27万人（対前年指数102）、総志願者が約331万人（対前年指数107）と増加している一方で、合格者数は約90万人（対前年指数98）と減少した。早慶MARCHでも志願者が増加したが、合格者数は減少した。

【東北地区から志願者の多い国公立大学を中心とした分析】

2018年度入試の主な変更点

一般入試でも英語外部検定試験の活用すすむ

- ・推薦・AO入試のみではなく、一般入試で活用する大学も出てきている。茨城大・工や千葉大・園芸・看護、金沢大・人間社会・理工・医薬保健などである。

後期日程の廃止

- ・近年、後期日程の廃止・縮小が続いており、2018年度入試では筑波大・医、千葉大・薬・工（デザイン）で廃止を予定。

大学の 신설予定(抜粋)

- ・公立小松大ー生産システム科（80人）、保健医療（看護50人、臨床工30人）、国際文化交流（80人）
- ・長野県立大ーグローバルマネジメント（170人）、健康発達（食健康30人、こども40人）
- ・育英大ー教育（児童教育50人、スポーツ教育50人）
- ・新潟食料農業大ー食料産業（180人）

山形大学では、人文社会学部の学部改組が影響して、志願者が減少した。工学部でも同様に学部改組を行ったが、思ったほど集まらず、実質倍率1.4倍~2.2倍と低倍率となった（前期）。2018年度入試では、地域教育文化学部で前期日程一括募集となる。工学部の機械システム工などで推薦Ⅱセンター利用方式を廃止する。

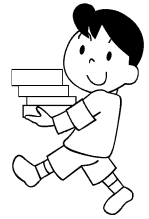
福島大学では、全国的な法学・経済経営人気の影響で、行政政策学類・経済経営学類で大幅な志願者増となった。これは岩手・山形・茨城・栃木からの流入が大きく影響した。試験結果も難化しており、合格ラインは900点満点換算で570~580点と上昇した。人間発達文化学類では、志願者数・実質倍率共に大きな変化はなく、落ち着いた入試となった。共生システム学類では、志願者が前年度87%と多く減らした。2018年度入試では、人間発達文化学類（文化探求ー数理科学）の数学個別試験において変更があり、「数学Ⅰ、数学Ⅱ」、「数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学B」のいずれか選択から、数学ⅠⅡⅢABが必須となった。

3 学年小論文指導始まる

■ 7月4日（火）「小論文ガイダンス」、計102名 の3年生が参加

進路指導部・政治経済担当の高橋雅彦先生にお話をいただき、次のようなことを確認した。

- 頭の中にあることと書くことはなかなかイコールにならないので、厄介だと思ってしまうかもしれないが、小論文を通して「しっかり文章を書きあげる」経験が大切である。それが志願理由書や面接にもつながり、大学でも求められている力だ。
- 大学側はその小論文から、思考力や論理性はあるか、最低限の語彙力があるかを、複数の目で評価している。
- 以前は受験する学部・系統によって、出題の傾向というものが見られたが、最近はその学部・系統に対しても様々な分野からの出題になっている。そのため受験生は、(経済学部は経済のみというような)自分が学びたい特定分野に対する興味関心だけでは通用しない。現代社会が抱える問題そのものが、それぞれ単独で起きているのではなく複雑に絡み合っているため、小論文で取りあげられる課題も「分野」の垣根を越え結びついている。社会全体を見渡しながらか、いくつかの事象に「結びつき」「つながり」というようなものをどれだけ見い出せるかで、書く文章に厚みや深みが出てくる。社会全体の事象として見ていき、それを深められる人は「小論文」に強い。
- 世の中の出来事に対して、敏感になってほしいし、世の中の動きをとどめていく意識を持っていることが大事。また、その事象の良いところだけでなく、悪いことも読み取れる力が必要。
- 具体的な方法として、
 - ・「小論文ノート」をつくる 新聞記事を貼ってメモしておく
 - ・長い文章を読解する力をつける 現代文の評論等で
 - * 地元福島大学の小論文の課題文も以前の1.2~2倍の分量に増加している
 - ・論理力の養成 新聞の読者の「投稿欄」を読み、それに反論する練習をする
 - ・いろいろな分野の小論文を 「下書き」を書いてからかく
 - ・本番まで50回書けば合格、70~80回書けば楽勝



■ 3 学年分野別小論文ガイダンス 7月12日（水） 放課後16:30~

この日は分野ごとに分かれるため、使用教室は後日連絡。(筆記用具持参)

7月4日に提出してもらった進路希望書をもとに分野別に分かれ、その専門に詳しい仮担当の先生の指導を受ける。

分野は「経済・経営」「教育・保育」「人文」「国際関係・語学」「医療」「理・工」「食物栄養」など。

内容は ○分野別 知っておきたい知識、今ホットな話題・キーワード

○夏休み中、今後の取り組みとアドバイス ○分野別推薦図書

昨年までのトレンド

- ・グローバルズムと反グローバルズム
- ・格差社会
- ・子どもの貧困
- ・人口減少社会
- ・地域の衰退、消滅
- ・待機児童

今年予想される傾向

- ・2025年問題 だんかいは 団塊の世代が75歳以上に
~加速する高齢化による弊害
- ・働き方改革
- ・A I (人工知能) ← **注目! 工学、経営、教育学部で出題**
- ・ナショナリズムの台頭 ~自分の国を最優先する考え方
- ・憲法改正/民主主義のあり方

「つながる」?

■ 小論文のために 話題の本 2017

『科学コミュニケーション』(岸田一隆・平凡社新書) / 『学びとは何か 探求人になるために』(今村なつみ・岩波新書)

『ぼくらの民主主義なんだぜ』(高橋源一郎・朝日新書) / 『高校生からの法学入門』(中央大学出版部)

『ふるさとを元気にする仕事』(山崎亮・ちくまプリマー) / 『A I の衝撃』(小林雅一・講談社現代新書)